

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0207 政4

事務事業名	男女共同参画啓発事業関係経費	担当組織	総務部	男女平等推進センター
-------	----------------	------	-----	------------

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	2-	3-	1-	1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	関連するSDGsのゴール		1	3	5	10	16
① 男女共同参画啓発事業関係経費					②						

政策体系（令和4年度基本計画）										
地域づくりの方向	多様性を尊重し合えるまち			政策	男女共同参画社会の実現					
施策	あらゆる分野における男女共同参画の推進【重点】			政策番号	2-3-1					
関連する個別計画	第5次としま男女共同参画推進プラン			計画策定年度	令和4年度	計画期間	5年			

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	区民及び男女共同参画・ジェンダー平等関連事業に関心のある方、事業者、行政									
(2)事業の目的・期待する効果	「男女共同参画・ジェンダー平等・多様性の尊重」の意識が区民・事業者・行政に浸透し、あらゆる面において「男女共同参画・ジェンダー平等・多様性の尊重」の視点をその行動、選択に反映できるようになる。									
(3)事業概要	①男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現に向け啓発事業(主催・共催)や登録団体との協働によるエポック10フェスタを実施する。②男女共同参画情報誌を、区民と企画・発行する。									
(4)目標の達成状況	4年度の取組内容(4年度に実施した具体的な業務内容)	①啓発事業講座 主催 4事業実施 参加者延156名 共催 13事業実施 参加者延422名 男女共同参画都市宣言記念講演会 1事業実施 参加者143名 区制90周年記念講演会 1事業実施 参加者92名 エポック10フェスタ 参加者延667名(イベント407名・展示260名) ②えぼっく・めいかーNO.51 発行部数2,500部 区民企画会議計8回開催								
	成果指標(事業目標の達成度)	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)	
	①「性別等により、差別されない社会である」と思う区民の割合	↗	%	29.7	33.0	27.4	83.0	36.0		
	②「講座を通して男女共同参画社会について考えるきっかけになったか」の平均点	↗	点	4.3	4.5	4.1	91.1	4.5		
指標の説明	①協働のまちづくりに関する区民意識調査の数値②各講座受講者アンケートによる平均点(5点満点)									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	①最近のジェンダーギャップ指数(120位、116位、125位)や多様な性目認、性的指向の人々に対する発言などの報道の影響及び人権意識の高まり②男女共同参画社会への認識の深まりに伴う期待水準の上昇							
(5)取組実績	活動指標(事業の実施状況)	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)	
	①区の附属機関・審議会等の女性の参画率	↗	%	36.6	42.0	39.8	95.0	44.0		
	②主催・共催事業数	↗	件	15	15	17	113.3	17		
	③講座・講演会・シネマ・フェスタ等参加者数	↗	人	1,264	1,550	1,642	105.9	1,490		
指標の説明	①審議会等に関する調査資料(企画課)から各年度4月1日時点で休会中・区政連絡会・区職員のみで構成されているものを除いた各審議会等における女性の割合の平均値②主催講座及び登録団体、関係機関との共催事業数③共催事業を含めた各事象参加者数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	学識経験者(専門職種)を構成メンバーとする附属機関等において、女性の絶対数が少ない、また、区女性管理職の比率が低い等がその理由の一端となっていると考えられる。							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度		
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R4決算比)	
事業費	A	1,864	1,399	4,170	3,462	83.0%	3,031	-431
人件費	【正規(人数)】	—	(0.70)	—	(0.98)		(1.05)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.20)	—	(0.08)		(0.18)	—
	人件費 B	B	—	6,670	—	8,576		9,573
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	8,069	—	12,038		12,604	567
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	—	8,069	—	12,038		12,604	567

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

【指標の達成状況(a)】
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **B** 根拠 5指標のうち3指標が未達成ではあるが、そのうち1指標は着実に実績を伸ばしているため

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題

男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実施、手法の工夫が課題である。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)

男女共同参画社会実現に尽力する個人や団体の活動及び交流の場の提供

【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 若年層や男性が参加しやすいよう土日祝日・平日夜間やオンラインでの開催を検討する

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善にむけての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)

男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実施、手法の工夫が課題である。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	後期基本計画の施策2-3-1, 2を推進するためのメイン事業であり、今後も引き続き実施していく
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択の理由	区の政策判断や方針の事業への迅速・着実な反映や国・都の動向への柔軟な対応を図るため
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	最小の人員・経費で多種多様な事業を実施している
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	オンライン化に資するWiFi環境整備	予算措置	有
対応・改善予定(上記ではい場合は更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由			

選択肢に関わらず

対応、改善の内容	若年層・男性参加促進の取組み	予定時期	令和6年度
予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討
			予算措置を伴う理由

【区が実施する必要性(c)】
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 意識調査の結果からも、区として啓発に一層注力する必要があると考えるため

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	3	指標番号(成果)	2	サービス利用者数	50名以上
	「有」「無」		推移	↗	推移	↘		

ともに記入

区民ニーズに対する認識 区民一人ひとりの人権と多様性が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会実現のため、実施する啓発事業であり、区民ニーズは高い。

総合評価(d=a+b+c) **ランク2**

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	多様な性自認・性的指向関連事業・啓発の充実
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律施行
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	多様な性自認・性的指向の人々に関する理解の促進及び当事者支援に関する事業の企画・実施
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	理解促進事業企画内容決定 区民向け講演会及び映画上映(期日 11月25日、会場 としま産業振興プラザ多目的ホール)
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	令和5年度は豊島区パートナーシップ制度を開始して5年目にあたり、当事者団体から何らかのイベントを企画実施できないかという声があった。
⑥上記⑤に対する対応	本事業の企画実施

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	次年度は周年事業の計画がないため、現状予算内で工夫して実施する
---------------	------	----	---------------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B:改善・見直し
---	----------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現のため、ジェンダーギャップ指数の推移に留意しつつ、施策の活動指標に関連する女性の就労・自己実現に係る事業を主催・共催で企画・実施するとともに、年齢・性別等に関わらず多くの区民の参加を促せるよう、引き続き啓発事業の工夫・充実に努めていく。